

令和元年度
第2回基本評価等専門委員会
会議録

日時：令和元年（2019年）9月17日（火） 13:00～14:30
場所：道庁本庁舎 5階 共用会議室

【出席者】

委員長	すずき みさこ 鈴木 美佐子	北海学園大学法学部教授
委員	うちだ けんえつ 内田 賢悦	北海道大学大学院工学研究院教授
委員	かさい さとみ 葛西 さとみ	行政書士カサイ・オフィス
委員	かねさか ゆみこ 金坂 由美子	税理士法人金坂会計事務所
委員	さいとう たくお 齊藤 拓男	(株)道新デジタルメディア メディアプランナー
委員	たけうち ひろお 竹内 弘雄	公認会計士竹内事務所
委員	たけおか あきこ 武岡 明子	札幌大学地域共創学群教授

【事務局(北海道)】

北海道総合政策部計画推進課長
ほか

齋藤 幹夫

1 開 会

2 議 事

「分かりやすい評価制度について」

(事務局より資料1、2、資料3-1、3-2、3-3に基づき説明)

≪審 議≫

【竹内委員】

- ・事務局において他府県調査を行ったが、他府県で、ある特定の政策や分野に絞って、公表するといった事例はあったか。以前から公表の仕方として、簡潔に見せた方が良いと思っていたので、事例があったら紹介して欲しい。

【事務局】

- ・他府県では、評価調書を、要約している事例があった。見ていただくところを絞り込んでコンパクトに見せている。

【齋藤委員】

- ・見せ方に対する意見について2つあるのだが、一つ目は資料3-2別紙のように施策と総合計画を紐づけてまとめることは見やすく良いが、さらに見やすくするために施策と総合計画の関係を、図示することができないか。二つ目は、一方的な評価ではなく双方向から道民がチェックしやすくするため、施策を担当する部局のホームページから政策評価のホームページへリンクさせることはできないのか。

【鈴木会長】

- ・一つ目だが、最初に図示するということは分かりやすいと思うので検討いただきたい。

【事務局】

- ・検討する。

【鈴木会長】

- ・二つ目について、部局から政策評価のホームページにリンクすることについてはどうか。

【事務局】

- ・一部リンクしている課もあるが、リンクしていない課もあるので今後働きかけていく。

【竹内委員】

- ・内容を見やすくしようという方向性は良いと思うが、見てもらうために、プレスリリースや広報紙への掲載等、政策評価自体を知ってもらう機会を作る必要があるのではないか。

【事務局】

- ・現状の情報発信の方法は、ホームページの公表や議会報告のみなので、他の方法について、検討する。

【武岡委員】

- ・資料3-2別紙の新たな公表様式のイメージは、真ん中に「総合評価」がある。見る人にとって最も関心があるところだと思うが、この「総合評価」はどのように導き出されているのか。

【事務局】

- ・現行の評価調書の「総合評価」を抜き出している。

【葛西委員】

- ・新たな公表様式の「目標」欄はいらぬのではないか。基本情報として「政策の方向性」と「政策の柱」の記載があるので、そこで施策の目標や意図するところは分かると思う。記載するならば予算額や過去3年間の指標の達成度合いが書かれていると、見る方としてはどこに予算が配分され、指標の達成度合いが分かるので良いのではないかと。もっと詳しく知りたい人は評価調書を見るようにリンクを貼るなどした方が良いのではないかと。

【金坂委員】

- ・せっかくコンパクトにしたはずなのにコンパクトな感じがしない。文字数が多いのではないかと。

【事務局】

- ・文字数や項目については、委員会で相談しながら決めさせていただければと考えている。文字数を減らす方向で項目について精査する。

【葛西委員】

- ・指標がない施策もあるとのことだが、なければ良いのではないかと。定量的な数値は出せると思うけど、定性的なもので出せないものは区別して表示されていけば良い。具体的な内容については調書を見てもらうようにすれば良いのではないかと。

【鈴木会長】

- ・リンク先を調書の該当箇所に設定することで対応できないか。評価結果の「概ね順調に展開」とかの根拠が見られるようにしておいたほうが良いと思う。

【事務局】

- ・該当する根拠のページに飛ぶようにリンクを貼るのは、現状のシステムでは不可能。

【金坂委員】

- ・基本評価調書の中で指標の達成度合いと取組内容の結果から導き出されるのが「総合評価」。該当する評価調書のトップページにリンクを貼り、1ページ目から順番に読んでいけば「総合評価」が導き出されるので、それで良いと思う。

【葛西委員】

- ・自分たちの税金がどこに投入されているかという視点で大変興味があり、関心がある項目かと思うので、目標の代わりに予算額を載せることはできないか。

【事務局】

- ・資料3-2別紙は総合計画の政策体系の小項目で分けてあり、構成される施策の予算額の合計が、単純に政策体系の小項目の予算とはならないので、記載は困難。その代わりに評価調書に記載することで対応したい。

【内田委員】

- ・先ほどの意見にもあったが文字が多く、ひとつひとつの文章が長い。センテンスを一文章で納めるなど記載方法に方針はあるのか。

【鈴木会長】

- ・資料の説明では箇条書きと言っていたが現状では箇条書きになっていない。

【事務局】

- ・資料はサンプルとして、お示ししている。実際には、明瞭簡潔な短文にして、長くても2行以内などルールを決めて、読みやすいように改善する。

【内田委員】

- ・評価調書にリンクを貼るのは良いが、総合評価の欄を見つけにくいとなると、見る方はすっきりしない感じがする。担当部署がその評価をなぜつけるのかということのを的確に出せないのか。

【事務局】

- ・かねてよりご指摘をいただいているところではあるが、現状のシステムでは、評価調書のトップページにリンクを貼ることしかできないので、順に読んでいくことでご理解いただくしかない。

【鈴木会長】

- ・総合評価に「概ね順調に展開」と書かれていたら、それがなぜかというのがコンパクトに分かるようになってるのが理想的だが、新たに作るとなると作業が増え効率化と逆行する。

【金坂委員】

- ・資料3-3別紙でも、図を作って見やすくしていただいた中で、一番右端に「施策目標」があるが、すぐ上にも「施策目標」が書いてあるので、重複は削除しては如何か。それぞれの役割の欄は「国」は「国」、「道」は「道」、「市町村」は「市町村」の下にして、上下の欄で関連づけて記載はできないか。

【事務局】

- ・極力そのように対応したい。

【金坂委員】

- ・取組や施策目標、現状と課題を箇条書きで書くのは良いが、今年度新しく取り組んでいることは、読む方にとっては興味があるので、字体や色を変えて、インパクトを持たせる記載方

法が、良いのではないか。

【事務局】

- ・過年度のもの今年度新しく入ってきた取組とを差別化できるように対応する。

【竹内委員】

- ・道民への情報発信としてマスコミとか、いろいろな媒体はあるが、今一番発信力があるのは知事だと思うので、知事の定例記者会見の時に、一言、言ってもらえれば良いのではないか。

【事務局】

- ・広報の方法については、今後検討して適切な方法で対応する。

【武岡委員】

- ・二点ほど意見がある。一つ目は、資料3-3別紙で、以前にも指標の達成度合いのA B C Dの評価基準が厳しすぎるのではないかという意見があったが、Aが100%以上でDが80%未満なので、大学の成績評価よりも厳しい。A B C Dと達成度合いが付くと、どうしてもそこに目がいってしまう。A B C Dの判断基準を見直すことは考えないのか。二つ目は、記入のルールを統一したいと言っていたが、ルールを徹底させるのは結構大変だと思っている。他府県の事例でルールを守らせるために何か取り組まれていることはあるか。

【鈴木会長】

- ・一つ目は、評価内容の話になるので来年度評価の見直し年とのことなので来年度以降の検討課題。二つ目についてはどうか。

【事務局】

- ・他府県では、詳細に記載ルールを決めて、書き直しをさせたりしている。ルールをきっちり定めるため、マニュアルを見直すなど徹底化を図りたい。

【葛西委員】

- ・今回の調書の見直しで、評価できる場所は資料3-3別紙3ページ目の施策評価の基準で、初めて過年度3年間分記載されたことと、評価指標が内部要因と外部要因で分けて書いているところ。できれば今回は3年間だが、それ以降は4年間、翌々年度には5年間を記載して欲しい。5年の経過を見ないとどういう推移をたどったのかが分からないし、なぜそうなのかにしても、外的な要因なのか内的な要因なのか分からない。施策を実行し、その指標分析の要因を記載して、人事異動で担当者が替わっても引き継ぐということが大事。指標に関しては、指標が古いとか、基準が高い、見直しの時期みたいなことが次の担当者に引き継ぎされていけば、評価しやすいと思う。そうすると、第三者でも評価できる部分ではあると思うのでお願いしたい。

【事務局】

- ・来年度は制度の見直し年なので、制度としてどうするべきかというところから検討していきたい。

【内田委員】

- ・ 施策コードは、必ず必要なのか。例えば資料3-3別紙の2ページ目の右側の下段に暗号みたいに数字が羅列されているが、一般向けであれば、なくてもいいと思う。担当部署で必要ということか。

【鈴木会長】

- ・ 一般に公表するときに施策コードを消してしまうということはどうなのかな。

【事務局】

- ・ 施策コードは一般向けというよりは内部での管理や相互の情報共有として必要。ただ、ご指摘のとおり、削除して支障ないところもあるので、公表時には削除を検討したい。

【鈴木会長】

- ・ 今日の意見を踏まえて、改善ができるところは改善し、検討や整理が必要な部分があるので、委員長にご一任いただき、次の委員会でご報告したいと思う。